

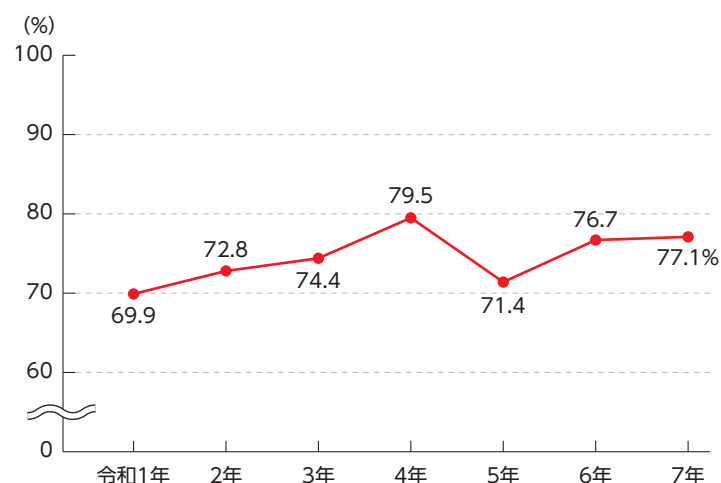
●第1回 のど自慢大会 in いこいの家

令和8年6月3日(水)

永生病院初となる「のど自慢大会」を開催しました。部署や年齢をこえて7人の職員が自慢の歌声を披露しました。利用者様や患者様の手拍子やあたたかい声援の中、バラエティ豊かな歌声が会場に響きました。職員の普段見られない一面を見て驚いたり、「懐かしい歌を聞けて楽しかった」といった声が聞かれました。



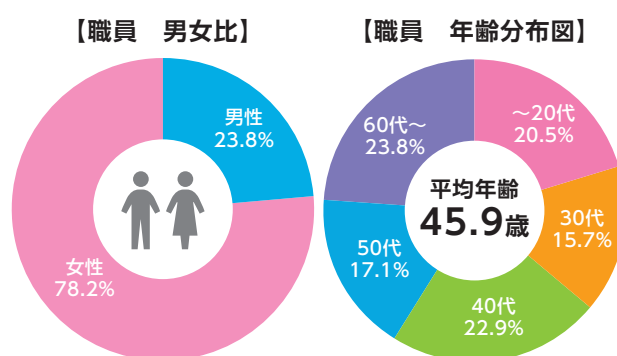
●年次有給休暇取得率の推移



●圭良会人員構成

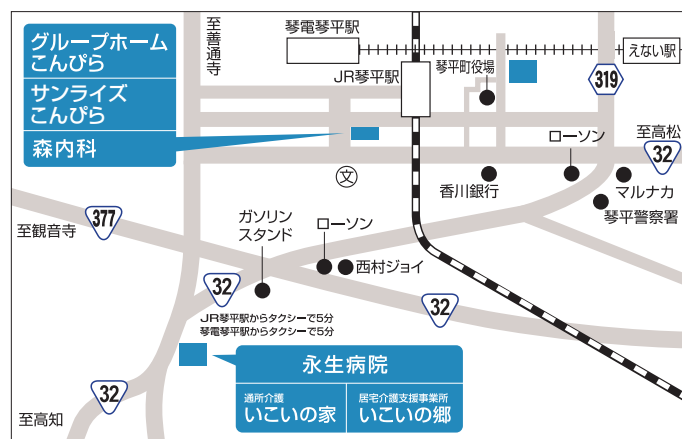
令和8年4月現在

- 職員数 210人(正職員:153人、パート:57人)
- 職員男女比(男性:50人、女性160人)



【編集後記】

今年も永生病院は、「24時間テレビ愛は地球を救う」に賛同し、募金活動を行います。今年のテーマは、『わたしの家族の話～あなたは誰を想う?～』です。医療従事者として患者さまに向き合い寄り添う時、患者さまのことをもっと理解し、患者さまのために何ができるのかを考えていかなければと思います。



医療法人圭良会

● 永生病院	香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
● いこいの郷 (居宅介護支援事業所)	Tel 0877-73-3655
● いこいの家 (通所介護)	Tel 0877-73-3718
● 森内科	香川県仲多度郡琴平町167 Tel 0877-73-4188
● グループホームこんびら (認知症対応型共同生活介護)	Tel 0877-73-0811
● サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護)	Tel 0877-58-8600



永生病院 130床(一般病棟 40床・介護医療院 90床)

永生病院広報誌「ゆるめき」第84号
発行元: 医療法人圭良会 永生病院
編集者: 接遇向上・広報委員会
住所: 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
TEL: 0877-73-3300
FAX: 0877-73-3202
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
発行年月日: 令和8年7月15日

永生病院だより

季刊
2026
夏号 vol. 84

ゆるめき

【理事長・院長のあいさつ】
地域密着型病院の役割

【健康ひろば】
おうちで血压をはかりましょう

【行事報告&お知らせ】
いこいの家リニューアルオープン
第1回 のど自慢大会 in いこいの家
年次有給休暇取得率の推移
圭良会人員構成

【編集後記】

■病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■患者の権利章典

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1. 医療を受ける権利 | 3. 知る権利 | 5. 学習する権利 |
| 2. 自己決定権 | 4. プライバシーに関する権利 | 6. 参加と協同 |



KEIRYOKAI

地域密着型病院の役割

令和8年診療報酬改定で、「治す医療」と「治し支える医療」を担う医療機関の役割がクローズアップされ、それに基づいた改定内容が多くみられ、急速に進む高齢化において医療提供体制は大きな転換点を迎えています。

多種類の疾患を併せ持つ高齢者医療においては、単に疾患を治療・管理するだけでは十分な結果は得られません。令和6年の介護報酬改定で強調された栄養、口腔、リハビリテーションとの連携、そして認知機能、生活機能、身体能力機能など多面的な視点から健康維持に努めることが求められ、地域における慢性期医療の重要性はこれまで以上に高まっています。

当院は一般病棟、介護医療院、介護事業所として通所介護、グループホーム、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所を有し、急性期病院の後方病院としての役割とともに、住み慣れた地域での在宅生活をめざした良質な医療・介護サービスを提供することに励んでいます。

1) 50歳台男性：脳梗塞発症し、口から食べることができなくなり、経鼻経管栄養となったが、嚥下造影検査で評価しつつ嚥下訓練を継続した結果、嚥下調整食3相当（きざみ菜、トロミ付加）の経口摂取が可能となった。患者さまは病気にに対し明るく取り組む前向きな姿勢がみられるようになった。

2) 90歳台女性：腰部脊柱管狭窄症、アルツハイマー型認知症、要介護2、自宅で転倒し恥骨骨折受傷、入院となった。退院後も半月の間に3回転倒を繰り返し、家人の負担が増大したため、毎月ショートステイを利用し、四肢・体幹の筋力強化、脳活性化リハビリを行った。次第に自宅での転倒頻度が減少し、家人との同居生活が続けられるようになった。

3) 70歳台男性：肺がん、多発脳転移の緩和ケア目的で入院し、麻薬の持続皮下注射、酸素投与を行っていた。「桜がみたい、点滴をはずしたい」「自分でうどんが食べたい」などの希望あり、疼痛緩和の方法を変更して離床する機会をつくった。屋外の桜を見に行ったことがきっかけとなり、食欲が回復し自助具を用いた動作訓練に取り組み、短く切ったうどん、トロミ付きスープを自分で食べることができた。その後病状が進行し、お気に入りのジャズが流れる部屋でおだやかに最期を迎えられた。

以上のような症例を多職種でかわり、チーム一丸となって寄り添う経験を積むことで、多くのことを学ぶ機会にもなっています。さらに今後もよりよい医療・介護サービスを実践していくよう邁進いたします。

理事長 森 伊津子 院長 大島 弘世

体の安心情報板 健康ひろば 第62回 テーマ おうちで 血圧をはかりましょう

高血圧は3人に1人がかかっていると言われます。みなさんのまわりにも、「血圧が高い」といわれている方はいませんか？

高血圧は心臓病、脳卒中、腎臓病など、さまざまな病気につながる可能性があります。そのため、血圧をしっかり管理することが大切です。目標とする血圧は、年齢や持病などによって変わります。ただし、血圧が目標どおりに管理できているかは、病院で測る血圧だけではわかりません。

そこで大切なのが、「おうちで測る血圧(家庭血圧)」です。毎日おうちで血圧を測ることで、次のようなことがわかります。

- ・血圧の薬が十分に効いているか？
- ・血圧が下がりすぎていないか？
- ・1日の中で血圧がどのように変わっているか？
- ・季節によって血圧が上がったり下がったりしていないか？

血圧測定は、まずは「朝起きてトイレに行ったあと」と「寝る前」から始めてみましょう。

一般的に、血圧は朝起きたときに高くなりやすく、寝る前には低くなりやすいです。体のホルモンバランスなどが影響していますが、朝に血圧が高すぎないか、夜に下がりすぎていないかを確認することはとても大切です。

血圧計は、薬局や家電量販店などで買うことができます。使い方がわからないときや、測り方でお困りのときは、外来スタッフへいつでもご相談ください。

よい血圧管理は、毎日測るところから！



内科医師 三宅広将

通所介護いこいの家リニューアルオープン

令和8年5月1日(金)

R8年5月1日当法人通所介護事業所「いこいの家」と「げんきの郷」を統合し、リニューアルオープンしました。従来のいこいの家を一部改修し、定員45名となりました。集団や個別のリハビリテーションや、脳活性につながるレクリエーションを行っています。住み慣れた地域でその人らしく元気で暮らし続けられるよう、利用者さまの医療・介護の情報共有を密に行い、より良質な日帰りの介護サービスを提供してまいります。

いこいの家におけるサービス内容の状況をご紹介します。

集団リハビリ

利用者さま数名ずつ一緒に四肢関節の可動域訓練を行います。下肢には1kg程度の重錘をつけて筋力訓練を行います。



個別機能訓練

高齢者専用のパワーリハビリの機械を用いて、体力向上のため四肢・体幹の筋力強化訓練を行います。



口腔ケア

楽しいお食事のあとはしっかり口腔ケアを行います。口腔内の雑菌が減少し、誤嚥性肺炎予防につながります。



おやつ

みんなで作った手作りおやつは、おいしさ100倍です。



静養室

食事後の安静、処置等の際に利用する静養室です。



音楽療法

音楽療法を定期的に実施し、言語機能の回復、脳の活性化、ストレス解消をはかります。



庭園

庭園も造り直し、屋外歩行しながら花壇の草花を楽しんだり、プランターに野菜を植えたりしています。素敵なテラスの下で日光浴も楽しめます。

